

第7次中期経営計画取り下げと今後の対応について

当社グループは、2019年5月に第7次中期経営計画(オーベクスビジョン2021・2019年度～2021年度)を公表し、最終年度目標の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりましたが、特にテクノ製品事業では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で先行き不透明な状況の中、市場の環境悪化を背景とした海外からの受注の減少による減収が見込まれます。また、感染症の収束時期を明確に見通すことができず、中期経営計画の最終年度の定量目標「連結売上高61億円、連結営業利益6億5千万円」の達成が困難となったことから、2020年8月、第7次中期経営計画を取り下げることにいたしました。

経営環境があまりにも不透明であり、第137期(2021年度)については、2021年5月発表予定の決算短信で業績予想として開示します。第8次中期経営計画については、2022年度を初年度として策定する予定です。なお、第7次中期経営計画での諸施策については、引き続き、取り組んでまいります。

